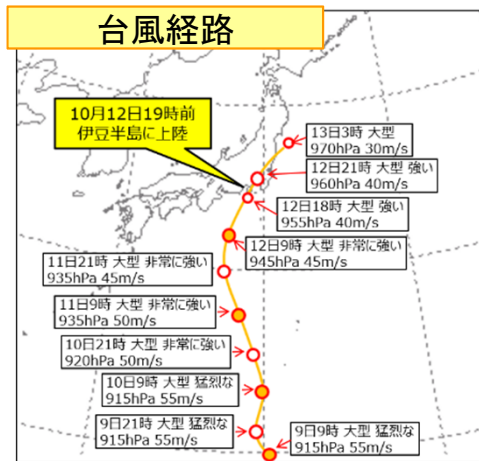
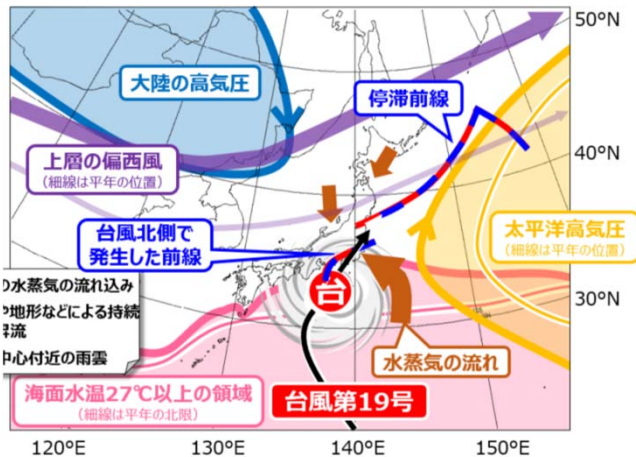
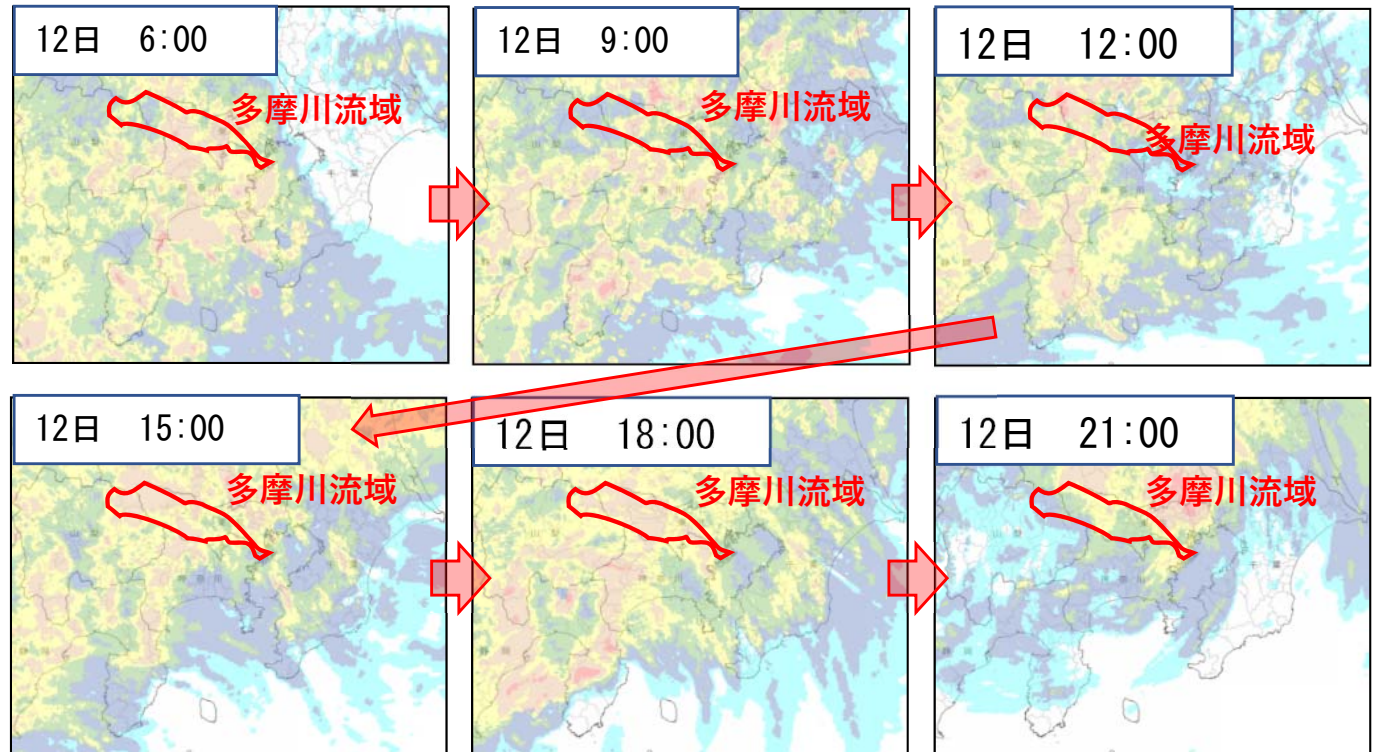


複数の雨量観測所で観測史上最高雨量を観測

- 令和元年10月11日（金）から、台風第19号の接近に伴い、多摩川流域全体の広範囲に強い雨域がかかり、山梨県、東京都、神奈川県を中心に大雨となりました。気象庁による要因分析の結果、以下の3点が主要因に挙げられました。
 - ① 大型で非常に強い勢力をもった台風の接近による「**多量の水蒸気の流れ込み**」
 - ② 台風北側の前線の形成・強化及び地形の効果などによる「**持続的な上昇流の形成**」
 - ③ 台風中心付近の発達した「**雨雲の直接的影響**」



レーダ雨量図 令和元年10月12日



台風第19号による記録的な大雨の気象要因のイメージ図